

まちの話題



子どもたちの食育体験

9/11 「岩屋梨」の収穫体験

みそみ小学校3年生の児童9人が、学校近くの吉田清隆さん（岩屋）の農園で特産「岩屋梨」の収穫を体験しました。児童たちは5月に小袋かけ、7月に大袋かけの作業も体験しており、今回大きくなった梨をひとつひとつ丁寧に収穫しました。その後、収穫したてのみずみずしい梨を味わいました。

吉田さんによると、今年は例年より雨が少なかったものの、その分日照時間が長く、甘みのある美味しい梨に仕上がったとのこと。

収穫を体験した児童たちは「最初は難しかったけど慣れれば上手に収穫できた。夕飯の後に家族と食べるのが楽しみ」と嬉しそうに話していました。



9/26 魚さばき体験

みそみ小学校5年生の児童17人が、地産地消に関する子どもたちの理解と地元食材への関心を高めることを目的に、地元で獲れた魚の三枚おろしに挑戦しました。

地元の若手漁師グループ（若狭三方水産研究会）のメンバー指導のもと、児童たちは、包丁を手に真剣な表情で魚をさばっていました。

その後、さばいた魚で煮付け、ムニエルを作り、美味しくいただきました。

体験を終えた児童たちは、「力が必要で大変だったけど、上手にさばけて良かった」と話していました。



9/29 山内かぶら種まき体験

鳥羽小学校3年生の児童24人が、伝統野菜の「山内かぶら」の種まきを体験しました。児童たちは、地元生産者「山内かぶらちゃんの会」のメンバー指導のもと、土にあけた穴に種をまき土をかぶせた後、もみ殻と水をまく作業を真剣に取り組みました。種まきの後は、山内かぶらの入った餃子やコロッケの試食も楽しみました。

体験を終えた児童は、「みんなで種まきができてとても楽しかった。早く大きくなってほしい」と話していました。

今後は11月に大きくなった山内かぶらの収穫を体験する予定です。



9/24 三方五湖一斉清掃

環境保全の重要性を肌で感じることで環境保全の機運を高めようと、若狭町と美浜町でつくる「三方五湖保全対策協議会」が、三方五湖での一斉清掃を実施しました。

両町民や各種団体、地元企業等から約170人が参加し、たくさんのゴミを回収しました。



9/30～
10/1

第23回チャレンジウォーク

敦賀市からリブラ若狭までの約40キロの道のりを、1泊2日かけて完歩を目指す「第23回チャレンジウォーク」が開催され、町内の小学4年生から6年生までの児童約30人が参加しました。

この取り組みは、集団の中で生活することにより、自立心・忍耐力・協調性を養ってもらおうと、若狭町子ども会育成連合会などが組織する実行委員会で企画しています。

一行は色ヶ浜（敦賀市）を出発した後、1日目は旧菅浜小学校（美浜町）に宿泊し、2日目にゴール地点であるリブラ若狭を目指しました。ゴール後に行われた解団式では一人ひとりが2日間の思いを口にし、互いを称えあいました。大きなチャレンジを終えて、たくましく成長した児童たちの姿を見ることができました。

8/16
～18

「わかさ合宿」の開催

関西を中心に学習塾を展開している「類塾」が若狭町での暮らしを体験する「わかさ合宿」を開催しました。

合宿に参加した小学生から高校生までの総勢49名の子どもたちは、7班に分かれて町内（常神・神子・向笠・末野・脇袋・熊川）および美浜町（新庄）に宿泊し、農業や漁業等を通じて若狭での暮らしを体験しました。

また最終日には、本合宿を通して感じた若狭町の魅力を互いに発表し、それらの魅力を発信する広報誌の作成に取り組みました。

合宿に参加した高校生は「地元大阪では味わえない自然を全身で感じられてとても楽しかった」と満足げな表情で話していました。



9/3

若狭町戦没者追悼式

先の大戦などで犠牲となった町関係者997柱の御霊を追悼する若狭町戦没者追悼式がバレア若狭音楽ホールで開催され、町遺族連合会関係者など約60人が参列しました。

黙とうの後、渡辺町長は「戦争を実体験した世代が少なくなる中、戦争の悲惨な体験を風化させず平和の尊さを後世へと語り継いでいくことは、今を生きる私たちに課せられた使命である」と式辞を述べました。



9/9

中学校体育大会の開催

三方中学校および上中中学校の体育大会が開催されました。生徒たちはリレーや綱引きなどの競技に加えパフォーマンスでも競い、優勝を目指しました。気合いに満ちた生徒たちの頑張りに、観客席からは大きな歓声と拍手が湧き上がり、会場全体が盛り上がっていました。

三方中学校▼



上中中学校▼



まちの話題



交通安全運動

8/18 野木地区交通安全茶屋

野木老人クラブ寿会の主催による交通安全茶屋が、野木公民館前の県道において行われました。

小浜警察署や若狭交通安全協会の協力のもと、交通安全のチラシや啓発品などをドライバーに手渡し、交通安全を呼びかけました。

その後、公民館で野木駐在所員による交通安全や特殊詐欺被害防止のための講話を聞きました。



9/25 倉見交通安全茶屋

秋の全国交通安全運動期間中の9月25日に、若狭交通安全協会上中支部と敦賀交通安全協会三方支部の主催による交通安全茶屋が国道27号倉見スノーベースで行われました。

この日、三方・上中両交番駐在所連絡協議会、老人クラブ、敦賀・小浜両警察署員やとぼっ子保育園の園児11名も参加し、ドライバー一人ひとりに交通安全と交通事故防止を呼びかけました。

園児たちが「交通事故に気を付けて」と梅ドリンクやチラシなどの啓発品を手渡すと、ドライバーは笑顔で受け取っていました。



9/2 若狭町歴史環境講座（古墳文化分野）

令和5年度第1回若狭町歴史環境講座（古墳文化分野）が開催されました。今回の講座は2部構成で行われ、第1部では花園大学文学部教授の高橋克壽氏および同大学の考古学研究室による「上ノ塚古墳」（脇袋）に関する説明と調査成果についての解説がありました。第2部では若狭町歴史文化館で、若狭町歴史文化課の近藤学芸員による展示物についての解説がありました。

約100名の参加者たちは、熱心に説明を聞き、太古の歴史に思いをはせていました。



10/1 若狭町自営消防隊三方地域操法指導会

三方消防署訓練場（北前川）において若狭町自衛消防隊三方地域連絡協議会主催による「第37回若狭町自衛消防隊三方地域操法指導会」が開催されました。

指導会には町内の地域および事業所などの自衛消防隊12隊（地域5隊、事業所7隊）が参加し、消火栓操法やバケツ操法を披露し、訓練の成果を競い合いました。

【主な優秀チームの結果は以下の通り】

■地域消火栓操法の部

三方区自衛消防隊、南前川区自衛消防隊

■事業所等消火栓操法の部

ワカサマツバ A 自衛消防隊、ワカサマツバワンピース自衛消防隊

■バケツ操法の部

ワカサマツバはじめの一歩自衛消防隊、フクビ化学工業自衛消防隊



Vol.2

自分の食べたいものを 最期まで食べられるように



レイクヒルズ美方病院 言語聴覚士
小田裕美さん

「口やのどから健康を」(言語聴覚士 小田裕美さん)

『明日、世界が終わるとしたら何を食べたい?』

こんな話を一度はしたことがあるのではないのでしょうか。この話をするためには、口とのどの健康が大前提となります。

私はリハビリ専門職として言語聴覚士という仕事をしています。『言語聴覚士』という言葉だけを見ると、言葉や聞こえの印象が強いわれがちですが、私のお会いする患者様は食べることや飲み込むことの難しい方が多く、そういう方々のリハビリも実施しています。

口やのどは話をするだけではなく、物を食べたり飲み込んだりするのに欠かせない器官ですので、気になることがあればどんな小さなことでもお気軽にお問い合わせいただければと思います。

当院では耳鼻咽喉科の医師が、必要に応じて飲み込みの検査も行っています。『口やのどの健康を大切にしながら、これから先の食べたい物について一緒に考えていく』言語聴覚士として、そんなお手伝いが少しでもできればと思っています。



問い合わせ 地域包括支援センター ☎0770-62-2702

診療所だより



「どうする地域医療！」地域医療シンポジウム in 若狭町

「少子高齢化」・「人口減少」が進む中で、若狭町の地域医療を今後どう維持していくのか。全国でご活躍する地方創生医師団の皆さんとともに、誰一人取り残さない、持続可能な地域医療について語りあうシンポジウムを開催します。

時間・内容・対象

11月11日(土) 13:30～17:00

- キックオフ
- ディスカッションⅠ
地域医療・公共医療機関のあり方について

11月12日(日) 9:00～12:00

- オープントーキング
地方創生医師団団長 江角悠太氏
- ディスカッションⅡ
どうする地域医療！シン・上中診療所を目指して

【対象者】一般住民、医療・介護従事者
※ どちらか1日の参加OK、両日の参加大歓迎です。
※ ディスカッションを聴講する形式です。



会場 パレア若狭 研修室

申込 右の2次元コードよりお申込みください。
【締切】11月6日(月)

詳細 詳細は右の2次元コードよりご確認ください



申込フォーム



若狭町HP

問い合わせ 健康医療課 上中診療所 ☎0770-62-1188

北陸新幹線敦賀開業直前・女性活躍推進イベント

アパホテル 社長 講演会 in 若狭

私が社長です

講師 アパホテル株式会社
取締役社長
元谷 芙美子氏

2023 **11/25** 土
15:00～16:00
(開場 14:30～)

会場 パレア若狭 音楽ホール
入場無料 (先着 300名)
※入場にはチケットが必要です。
若狭町観光商工課またはパレア若狭にて配布中。

◆ Profile ◆

福井県福井市生まれ。福井県立藤島高等学校卒業後、福井信用金庫に入社。22歳で結婚し、翌1971年、夫の元谷外志雄が興した信金開発株式会社(現アパ株式会社)の取締役に就任する。1994年2月にアパホテル株式会社の取締役社長に就任。会員制やインターネット予約システムをいち早く導入し、全国規模のホテルチェーンへと成長させる。2006年早稲田大学大学院公共経営研究科修士号を取得し、2011年には同博士課程を修了。現在、アパホテル株式会社取締役社長をはじめ、アパグループ11社の取締役、日韓文化協会顧問、株式会社SHIFT社外取締役、株式会社ティーケーピー社外取締役を務める。また、全国各地からの講演依頼にも精力的に取り組み、地域社会の活性化に努めている。

お問い合わせ

若狭町観光商工課
TEL 0770-45-9111

主催 / 若狭町 / 若狭町地域経済活性化協議会
共催 / 若狭町男女共同参画推進協議会
後援 / わかさ元気町づくりネットワーク